

低炭素建材の普及に注力

力してきた成果」と胸を張る。
4月1日付で、同じ日鉄グループの「日鉄セメント」（北海道室蘭市）と経営統合し、存続会社となる。拠点や人員の合理化は行わず、両社が築いてきた事業基盤を生かして組織の強化を図る。「国内で高炉セメントが使われる割合はまだ2割ほど。統合の相乗効果で、さらなる普及につなげたい」

ひと



日鉄高炉セメント（北九州市）

江頭 秀起社長

日本製鉄の子会社で、製鉄の副産物である「スラグ」を原料に混ぜた「高炉セメント」を製造・販売する。高温で焼く主原料の石灰石を減らせるため、一般的なセメントに比べて製造時の二酸化炭素（ CO_2 ）排出量を「約4割抑えられる」という。低炭素建材としての価値が高まり、福岡県が県営住宅など全ての公共建築工事の基礎部分に採用。「業界で認知度向上に注